



おおあらい

Vol.376



はいつ (大洗郷土かるた 関連記事11ページ)



平成15年度予算P. 2



わが町トピックスP. 6
みんなのひろばP. 8
町のわだいP.10
くらしの情報P.12



特集 平成15年度予算

新年度予算は139億2,957万4千円

予算編成の基本方針



第1回町議会定例会において提案理由を述べる小谷町長

【歳入】

歳入の中心である町税収入は、景気低迷による町民税の減収、並びに評価替えに伴う固定資産税の減収が見込まれるため、14年度当初予算に比べ2・8%約9千万円の減を見込んでいます。

さらに、消費低迷等の影響により地方消費税交付金等の減収見込みは、約2千万円になります。また、その他の一般財源は、14年度当初予算に比べ、地方交付税がマイナス23%、1億8,100万円減の見込みであり、当町の財源不足に対応して発行が認められる臨時財政対策債等の一般財源町債を5億円発行し、さらに不足する財源については、一般財源基金の3億円を取崩しを行いました。

会計別予算額

会計名	予算額	伸び率
一般会計	75億8,440万円	0.8%
特別会計	63億4,517万4千円	0.3%
〔会計別〕		
国民健康保険事業	19億2,927万5千円	8.1%
老人保健事業	21億1,498万円	7.1%
介護保険事業	8億7,179万4千円	8.5%
地方卸売市場冷蔵倉庫事業	3,776万7千円	11.3%
公共下水道事業	6億3,267万4千円	0.7%
墓地事業	2,193万4千円	36.2%
公平委員会	1,745万円	0.5%
水道事業	7億1,930万円	4.0%
合計	139億2,957万4千円	0.6%

【歳出】

歳出は、限りある財源を効果的、効率的に配分し各種事業が図れるよう計画的に予算編成をし、経常経費は、物件費で対前年2,900万円の減、給与改定に伴う人件費等約2,300万円の減、補助費等で約1億4千万円の減としました。

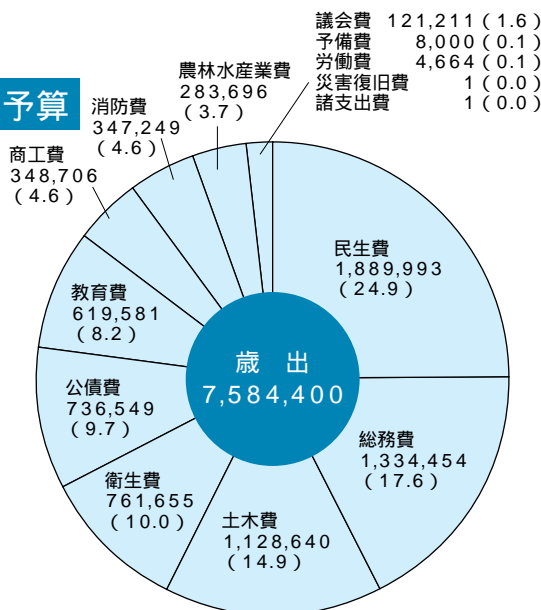
事務事業の総点検に取り組み一方、人づくりや生きがい対策、ごみ減量化対策、町経済の活性化対策などに重点的に予算を配分しました。

一般会計歳入歳出予算のあらまし

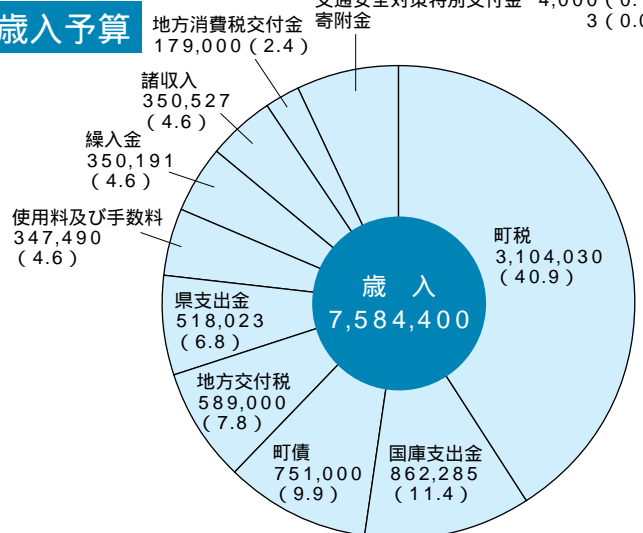
単位：千円
()内は構成比%

分担金及び負担金	146,575 (1.9)
繰越金	100,000 (1.3)
財産収入	88,776 (1.2)
地方譲与税	58,000 (0.8)
地方特例交付金	55,000 (0.7)
ゴルフ場利用税交付金	40,000 (0.5)
自動車取得税交付金	23,500 (0.3)
利子割交付税	17,000 (0.2)
交通安全対策特別交付金	4,000 (0.1)
寄附金	3 (0.0)

歳出予算



歳入予算





「なやさいまち」

高齡者福祉

「心豊か」介護保険制度事業の推進はもとより制度において認定されないひとり暮らしの老人支援事業（生活用具給付、給食、緊急通報システム、いきがい活動支援通所事業など）の充実を図るとともに、いきがいづくりとしてシルバークリニック事業を支援します。

障害者福祉

福祉作業所の充実とボランティアの協力体制をつくり、デイサービスや居宅介護事業の支援体制を整備し、取り組みます。

児童母子福祉

働いている方の子育てを支援し、公立保育所での0歳児保育、延長保育、学童保育事業を充実させていきます。

保健事業

病気の予防、早期発見、早期治療に重点をおき、ちよつくら健康館、いきいき体操など地域から健康意識が芽生えるような事業を展開していきます。また、「すべての親子が健やかに育つために」を総合目標にして平成14年度に策定した母子保健計画をもとに、病気の予防と心身の健康増進を図ります。

健康・福祉の主な事業

老人福祉事業	65 743千円
障害者福祉事業	277 396千円
放課後児童健全育成事業	16 018千円
医療福祉	120 028千円
保健事業	36 772千円

「人を育む元気なまち」

幼児教育

保育所などにおいて0歳児保育、延長保育、一時保育、土曜保育などの環境を整備します。

学校教育

学地連携、ティームティーチング、心の教室相談員配置事業などに取り組み、また、子どもたちが他の地域との交流・体験を通じ創造性を高める地域連携事業を推進します。第一中学校は地域の特性と時代の潮流にあわせた校舎を旨とし、多様な人間関係の中で様々な体験を積む場という視点に立ち、校舎建築を進めます。

社会教育・青少年教育

海の学校を設立し、町の自然をいかした多くのプログラムをつくり教育面はもろろ町全体の活性化策につなげます。また、青少年センターや青少年健全育成会議の活動を充実させます。



交流事業

北海道洋上体験学習事業、アイアンキッズクラブ事業、わくわく科学館を利用したサイエンススクール研究会などを推進します。

スポーツ事業

全国小学生体操大会、町民ゴルフ大会、町民ソフトボール大会、マラソン大会などを実施します。

また、スポーツのまちづくりプランに基づき、総合型地域スポーツクラブ設立に向け取り組みます。

生涯学習の主な事業

情報教育整備事業	25 955千円
第一中学校改築	
基本実施設計委託	50 000千円
北海道洋上研修事業補助金	5 766千円
健康とスポーツの	
まちづくり推進事業	1 592千円
町民会館自主文化事業	2 935千円

芸術文化の振興

自主文化事業、公民館事業を創意工夫し展開します。

国際交流

青少年を中心に国際的に通ずる人材の育成を図るため国際交流協会を設立し事業を推進します。

男女共同参画社会づくり

住民約2,000名からのアンケートを基に、男女共同参画推進計画を策定し、女性の社会参加の環境を整備します。

「やすらぎのある安心なまち」

ごみ対策

資源ごみのリサイクルを強化し、ごみの排出方法から収集方法を含め、住民と一体となったごみの減量をすすめます。宿泊施設・学校・病院などから排出される生ごみの「堆肥化施設設置」を事業者と連携し推進します。

環境美化

住民・事業者・行政が一体となり、快適な環境保全のため積極的に取り組みます。啓発運動・クリーンイベントの実施・公共下水道の整備促進・家庭雑排水処理の施設設置補助、不法投棄の監視体制・啓発の強化をすすめます。

交通安全・防犯

交通マナー普及向上などの啓蒙に努め、街路灯、カーブミラー、道路標識等の環境を整備し総合的に交通安全対策をすすめる、防犯については安心して安全なまちづくり条例に基づき、犯罪、事故災害を未

然に防止するための活動に取り組みます。

消防、救急、防災体制

迅速円滑な消防業務を行うため、消防用器材の充実を図るとともに、団・署の連携を図り技術力を向上し消防力を強化していきます。また多様化する救急業務に対応するため救急救命士の養成を図ります。



生活・環境の主な事業

ごみ収集業務委託	54,180千円
ごみ減量化促進事業	13,991千円
合併処理浄化槽設置補助	13,644千円
ハント族・暴走族対策事業	4,535千円
原子力防災通信ネットワークシステム整備事業	85,269千円

防災については、原子力や海や川を持つまちの特殊性をふまえ、ネットワークシステム構築（避難所としての学校・漁協・農業会館等）をすすめます。また、役場庁舎においても非常用電源施設を整備し、災害に備えます。

「安全で暮らしやすいまち」

上下水道事業

水道事業については、水源対策・老朽管更新等その充実を図ります。下水道事業については、快適な生活環境の確保と河川や海の水質を保全するため、事業認可区域の整備促進により、下水道処理区域の拡大・普及を図ります。

道路の整備

二年次に入る若見屋平戸線、大洗港杉ノ下線の整備促進を図り、また、主要地方道大洗友部線、都市計画道路吉沼磯浜線の整備促進について関係機関に働きかけ、国道、県道、町道のよりよいネットワークの形成を図ります。また、北関東自動車道、東関東自動車道などの高速道路の整備促進を強く国及び関係機関に要望していきます。

町営住宅の整備

人口及び児童対策として二

都市整備の主な事業

都市計画道路整備事業	140,000千円
二葉町営住宅建設事業	395,999千円
一本松土地区画整理事業	45,060千円
配水設備改良事業	83,500千円
下水道整備	222,000千円

公園緑地

うるおいのある生活や自然とふれあえる場を創出するため、花壇の整備など全町公園構想のもと緑と花いっぱい運動を展開します。

葉地区へ町営住宅を平成16年度にかけ56戸を整備します。町営住宅建設についても建設誘致を要望していきます。既存の住宅については、松ヶ丘住宅外壁改修工事、前原住宅浴室回り改修工事等老朽箇所など計画的に改修をすすめます。



「活気ある楽しいまち」
観光振興

自然体験の中で水とふれあう「海の学校事業」を立ち上げ、学習と観光産業振興という両面から取り組んでいきます。

宿泊施設の温泉利用を進める供給体制を充実させるため、タンクローリー車を購入し事業者の要望に対応します。あわせて、観光地としてのグレードを高めるため、水

辺プラザ事業の推進、各種イベントの開催、快適な海水浴場の整備などをすすめます。

漁業

漁業経営の安定化を図るため栽培漁業及び資源管理型漁業を推進し、魚介類のブランド化を図り生産基盤を確立していきます。

また、漁場管理を徹底するため高性能の密漁監視船を導入します。

水産加工業

水産加工施設改善事業に伴う利子補給、水産加工業振興補助金、水産物並びに地場産品消費拡大事業等への助成支援をしていきます。

農業

減農薬農業による地域環境保全型農業推進事業を町独自に進めます。

また、広浦地区及び大貫地区は場整備事業、飼料稲収穫調整事業、耕地利用率向上推進事業などを推進するとともに、今年から地産地消を目的

として学校給食に地元の米、ゆめひたちを使用します。

商工振興

長引く経済不況の中、個人消費や購買力の低下、大型店の影響による他市町村への消費流出、後継者不足など厳しい

状況にあります。

多くの観光客を商工業の振興につなげていくため、商工会を中心に各商店会の知恵と個性をいかした取り組みを強化するためのサポートをしていきます。

また、循環バスの運行につ

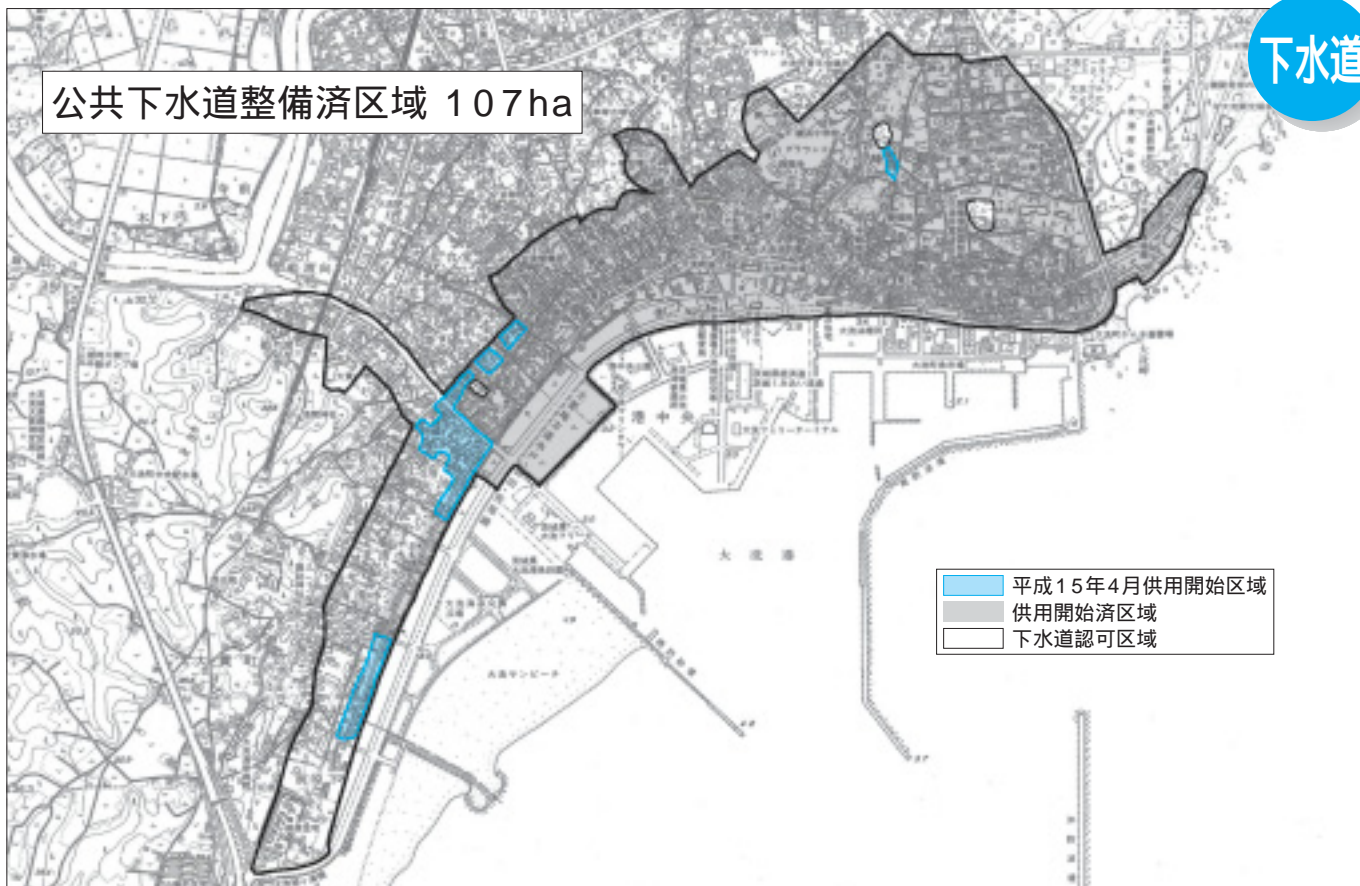
いては1年間の実績を踏まえ、来遊客と地域住民のニーズに応え、産業振興につながるような創意工夫を凝らしていきます。



産業・観光の主な事業

温泉供給事業	17,596千円
水産加工業の振興	13,729千円
大洗町漁業振興協会補助金	25,524千円
生産調整推進対策事業	32,949千円
担い手育成基盤整備事業(広浦地区)	14,176千円

公共下水道整備済区域 107ha



公共下水道整備が大貫地区へ広がります

供用開始区域が拡大

4月から新たに上図の区域

の公共下水道が整備され、利用できるようになります。これにより、下水道整備の認可を受けている区域の約75%の下水道が整備を完了することになります。

私たちの住んでいる地域の下水道が整備され、「下水道処理区域」になると、各家庭から出る生活污水は下水道に接続することが法律により義務づけられています。公共下水道に接続するためには、各自治地内の排水管や汚水枡を整備していただく必要があります。下水道に接続する場合は、排水設備工事は、工事費の見積もりなどを含めて指定工事店にご相談ください。

また、町では下水道の普及を図るため、下水道の供用開始から3年以内に接続された方に補助金を交付しています。

- 1年以内 15,000円
- 2年以内 10,000円

3年以内 5,000円

新築および事業所は除く各家庭が下水道に接続すれば、その汚水は地中に埋設された下水道管により、ひたひたなか市にある那珂久慈流域下水処理場を集められ、浄化処理されてきれいな水となり、自然に戻されます。また、水洗化によりトイレの汲み取りや浄化槽も必要がなくなり、環境保護だけでなく、個別の

負担も軽減されます。

供用開始区域で、まだ接続していないご家庭は、早急に接続して公共下水道のある快適な暮らしを実感してください。大洗町の自然環境を守るためにも、公共下水道事業へのご理解とご協力をお願いします。

問合せ / 上下水道課管理係

(内線271)

茨城県下水道促進週間 コンクールポスター部門知事賞特選

下水道に対する理解を深め、その普及と十分な活用を促進することを目的に茨城県の主催で開催された「平成14年度茨城県下水道促進週間コンクール」ポスター部門において、米川舞さんが見事知事賞特選に受賞されました。





2003 「ポートフレンズ 大洗」コンテスト出場募集



◆募集期間 平成15年
5月9日(金)まで

〈応募資格〉
●県内居住者
●満18歳から30歳までの健康な方
●指定した日に勤務できる方
※高校生、もしくは他コンテスト入賞者で現在活躍中の方を除く
※活動期間は2年間です。

◆コンテスト 平成15年
とき 5月25日(日)
ところ 大洗マリーナ

〈審査〉
私服での審査です。(非公開)
〈勤務〉
イベントや観光PR、年間30日程度
日当として1日10,000円を支給
〈応募方法〉
履歴書に写真を添付のうえ、期限までに
下記応募先へご提出ください。
(郵送の場合は、5月9日当日消印有効)

〈お問い合わせ・応募先〉
〒311-1392
東茨城郡大洗町磯浜町6881-275
大洗町商工観光課
TEL 029-267-5111 (内331)

〈賞品〉
ポートフレンズ大洗3名には、
20万円の旅行クーポン券
その他豪華賞品を進呈

健康づくり推進事業功労者表彰

2月13日(木)、大洗町食生活改善推進員連絡会会長中山きみ子さんが茨城県知事から健康づくり推進事業功労者表彰を受けました。

とれたより良い食習慣の定着を目指し活動していきます。

大洗町食生活改善推進員連絡会は、デイサービスへの給食づくりやちよつくら健康館、さまざまな講習会での栄養指導など栄養のバランスが



茨城県下水道局主催コンクール 大洗町立 南中学校
ボスター部門 日本賞特選 米川 舞